

地域おこし協力隊 通信 VOL.70

お問い合わせ先
(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ
電話 5-1114 告知端末機 5-8814
(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」
電話・告知端末機 9-7367

集落支援担当 中井正幸隊員



季節は秋を迎え、学芸会や文化祭の時期となりました。そう思うと、1年があったという間に巡り、これからやってくる冬を意識し始めるのではないのでしょうか。

時間を少し戻しますが、30℃を超える日が続いた夏の日のお話です。幌延町・豊富町で「サイクルツーリズム」の推進を目的としたワークショップが7月末に北海道開発局の主催で開催され、両町に設置する木製サイクルラックを作成しました。

サイクルラックとは、スタンドの無いロードバイクなどを引っ掛けて駐車するラックで、最近では道の駅などの観光施設や公共施設で見かける機会が増えてきました。私が以前勤めていた上ノ国町の道の駅にも設置されていましたが、残念ながら当時はあまり使われておらず、店内に連れて入れないワンコがよくつながれていました…。

今回のワークショップなどで作成されたサイクルラックは、ゆめ地創館、トナカイ観光牧場や幌延駅など町内約10ヶ所に設置されました。身近な場所に設置されていますので「あ、ここにもあった」なんて探してみてください。

また、サイクルラックの一部(天板)は、ワインやクラフトジンの樽にも使用されている「北海道大学天塩研究林内のミズナラ材」が使われており、さりげなく幌延町をアピールしています。



サイクルラックの完成品

幌延町をはじめ、道北地域を訪れるサイクリストを見かける機会が年々増えています。サイクルラックを活用して



ワークショップ前の事前作業

買い物や観光を楽しんで頂ければ、小さなおもてなしの一つになるのではないのでしょうか。

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



こんにちは、地域おこし協力隊の貞廣です。秋風が心地よい季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

8月17日から幌延深地層研究センター「ゆめ地創館」にて、夏のサロベツ原野をテーマにした写真が展示されています。幌延深地層研究センターさんから今まで展示していた町の風景写真の更新の相談を受け、自身の活動であるサロベツ原野の情報発信のために撮影した風景やそこに咲く草花の写真などを大きなパネルにして展示していただきました。今後、年間を通して季節に沿ったテーマに変えながら展示される予定なので、ぜひゆめ地創館へお越しください。(緊急事態宣言中は臨時休館です。)

私がこれまで撮りためてきた写真が思ってもみなかった形で使っていただけることは大変ありがたいことです。これからもサロベツ原野について、町内外問わず色々な方に発信していけたら嬉しいです。



ゆめ地創館内に展示されたサロベツ原野の風景や草花の写真